

A・M・P デジタル 取扱説明書(耳あな形)

- 警告** 取り扱いを誤った場合、人の死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
- 注意** 取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

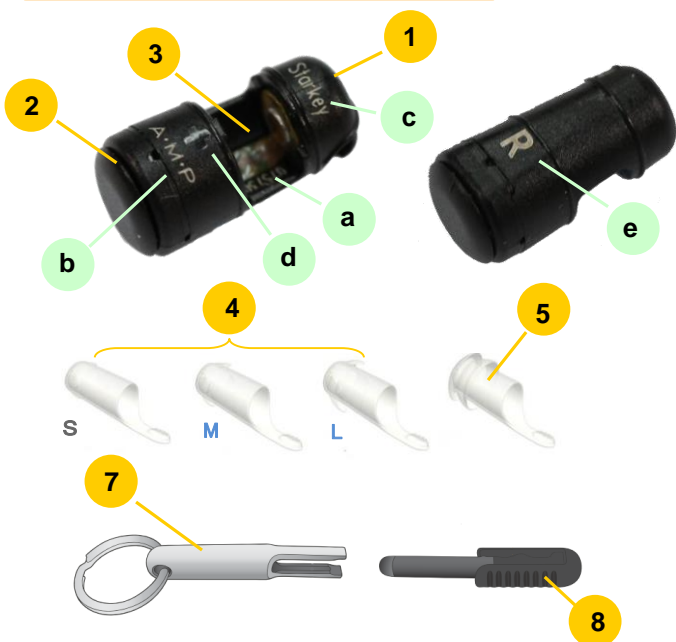
安全にお使いいただくために

- 警告**
 - 補聴器本体を、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
 - 補聴器本体またはスリーブなどを誤って飲みこまないように十分注意して下さい。もし飲み込むような事故があった場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 注意**
 - 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
 - MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
 - 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
 - 浴室など、湿気が多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
 - 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。

フィッティングサービスの重要性

補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

各部のなまえと記載事項



<スリーブ装着状態>

1. 各部のなまえ

- 1 レシーバ(出力部)
- 2 マイク(集音部)
- 3 電池室
- 4 オープンタイプ・スリーブ
- 5 耳栓タイプ・スリーブ
- 6 ハンドル
- 7 電池クリップ
- 8 マグネットツール

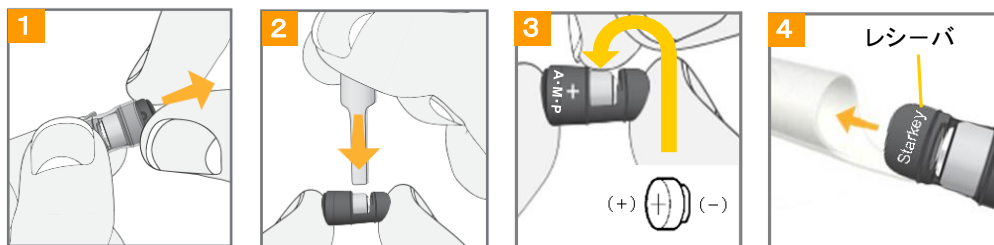
2. 記載事項

- a シリアルナンバー (例:11-095261)
- b 補聴器の名前 A・M・P
- c 製造メーカー名 Starkey
- d 電池の向き(+)記号
- e 左右の表記 L:左耳用/R:右耳用

注意

- スリーブは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- 左右の聴力に合わせて補聴器が調整されていますので、補聴器を装用する際には、左右の表記をよくご確認ください。

電池を交換するには



※補聴器本体を正しい向きでスリーブの奥まで入れてください。

- 1 スリーブから補聴器を取り外します。
- 2 使用済みの電池を電池クリップの先端ではさんで取り出します。
- 3 電池のシールをはがし、電池の(+)記号がついている面を補聴器表面の(+)記号がついている側[=A・M・Pと記載]に向けて、電池がカチッと固定されるまでしっかりと入れます。
- 4 補聴器本体をレシーバの方[=Starkeyと記載]からスリーブに入れます。

警告

- 電池は幼児やペットの手の届かない所に保管してください。
- 電池を誤って飲み込まないように十分注意してください。
- 飲み込んでしまった場合、直ちに医師の診断を仰いでください。

注意

- 使用済み電池はゴミとして捨てないで、販売店にお持ちください。
- 電池の(+)、(-)の向きを間違えて補聴器に入れると、故障の原因になります。

補聴器を装用するには



- 1 ハンドル(スリーブの端)を指でつまみ耳の穴に入れます。
- 2 補聴器をゆっくり耳の中に入れてください。補聴器が耳の中にぴったり収まるように指でゆっくり押し込みます。

・補聴器を取りはずすには

ハンドル(スリーブの端)を指でつまみ、ゆっくり引き出します。

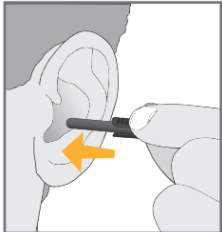
⚠ 注意

- スリーブが無い状態で補聴器を耳の中に入れてください。補聴器が耳の中から取り出せなくなる場合があります。

補聴器の操作

※補聴器の操作はマグネットツールを使用して行います。

1. 電源の入/切



電源入

マグネットツールを補聴器のマイク部にゆっくりあてた後、はなすとメロディが鳴って、電源が入ります。

電源切

マグネットツールを補聴器のマイク部にゆっくりあてて、1秒以内にはなすとピープ音(プー)が鳴って、電源が切れます。

⚠ 警告

●磁石は心臓機器(ペースメーカー、細動除去器、能動型埋込式医療機器など)の医療機器に影響を及ぼす可能性があります。ご使用前に必ず医師にご相談ください。

	ボリュームの状態	ピープ音
①	基準の設定レベル+2	ピロピロピロピロピロ(5回)プー
②	基準の設定レベル+1	ピロピロピロピロ(4回)
③	基準の設定レベル	ピロピロピロ(3回)
④	基準の設定レベル-1	ピロピロ(2回)
⑤	基準の設定レベル-2	ピロ(1回)プー

※電源を切るか、電池を補聴器から取り出すと、ボリュームは③基準の設定レベルに戻ります。

2. ボリュームの調整

マグネットツールを補聴器のマイク部にゆっくりあてて、そのままにしていると、ボリュームの調整モードになり、ボリュームのレベルがピープ音とともに変化していきます。(④→⑤→④→③→②→①→②→③→④→⑤・・・の繰り返し) ※右表参照

お手入れをするには

- 1 スリーブから補聴器を取り外してください。
- 2 補聴器本体の表面を乾いた柔らかい布等で拭いてください。
- 3 レシーバ、電池室、マイクなど、耳垢やホコリのたまりやすい部分はブラシや綿棒を使い、毎日掃除してください。
- 4 スリーブは水あらいをして、水分をしっかりと拭きとってください。
- 5 スリーブに水分が残っていないことを確かめてから、補聴器を取り付けます。

⚠ 注意

- 就寝時など、補聴器をご使用にならないときは、電池を取り出して、補聴器本体とスリーブを乾燥ケースに入れて保管してください。補聴器から取り出した電池は乾燥ケースに入れないようにしてください。
- スリーブは使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。
- スリーブが変色したり、硬くなったりしたら、新しいものと交換してください。

おかしいなと思ったら

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	○耳栓・マイク孔の目詰まり	○耳栓・マイク孔を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	○補聴器が正しく装用されていない	○正しく装用してください。※「補聴器を装用するには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音がとぎれる	○電池の消耗	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音が小さい	○電池の消耗	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	○マイク開口部の目詰まり	○マイク開口部を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	○電池の極性が逆	○正しい向きに入れてください。※「電池を交換するには」参照
	●補聴器内に異物	●販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

医薬品医療機器等法第63条の規定による表示

製造販売業者名: スターキージャパン株式会社
 住所: 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
 第2種医療機器製造販売業許可番号: 14B2X00027
 登録番号: 14BZ000426
 ☎ 0120-045-190

区別: 管理医療機器
 一般的名称: 耳あな型補聴器
 認証番号: 223ADBZX0006000
 製造番号: 製品本体記載
 販売名: A・M・Pデジタル



MD84856/ISO13485